

普及現地情報



発信年月日：令和6年(2024年)2月20日
所属名：大津・南部農産普及課
番号：A23019
部門分類：440 流通・販売
発信者名：川村、木村、坂尾、大崎、北川、那須

JAレーク滋賀管内みおしずくグループ研修会を開催

令和6年2月15日にJAレーク滋賀管内みおしずくグループを対象とした研修会を開催し、市場出荷に向けた栽培管理指導について指導しました。

JAレーク滋賀管内みおしずくグループは、JAレーク滋賀管内の市場出荷販売体制によるイチゴ産地の育成を目的にした生産者組織で、令和5年8月に8経営体で設立されています（[A23011参照](#)）。当課と高島農産普及課により既存生産者や新規生産者に働きかけた結果、現在は22経営体が参加しています。

今回の研修会は、湖南、大津および高島の地域農業センターの協力を得て、新規生産者を中心にグループ員7名と関係機関14名が参加し、草津市内のグループ員ほ場において開催しました。グループ代表による市場出荷に向けた開会のあいさつにはじまり、草姿の確認、食べ比べによる果実品質確認の後、室内で今年度の課題と対応方法、親株増殖から育苗までの栽培管理方法について指導しました。

今後も、当課と高島農産普及課で協力し、JAレーク滋賀をはじめ関係機関と連携したイチゴ産地を育成し、市場出荷販売体制の構築とともに「みおしずく」の生産拡大を推進していきます。



代表のあいさつ



室内研修